



# 与謝野町商工会

題字：安田商工会長書

広報誌

第37号

〒629-2312 京都府与謝郡与謝野町字四辻150  
Tel.0772-43-1020 Fax.42-0737

与謝野町商工会ホームページ <http://web.yosano.or.jp/>  
Eメール [info@yosano.or.jp](mailto:info@yosano.or.jp)

商工会は地域の繁栄を祈り  
会員企業の経営を支援します。

## 新年のご挨拶

与謝野町商工会 会長 安田 光孝



新年あけましておめでとうございます。

皆さま方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、最近の地域経済は、昨年に全線開通した京都縦貫自動車道の効果もあり、京都府北部への入り込み客が大幅に増加し、丹後地域の宿泊客は増加しましたが、製造業や地元小売業者などは依然として厳しい状況下で推移しています。

一方、国ではアベノミクスの第2ステージとして、GDP600兆円の強い経済を目指すこととされました。さらに、地方創生にも全力で取り組むとのことであり、その効果に大きな期待を抱いているところでございます。

このような中、昨年には地方創生交付金によるプレミアム商品券事業に取り組みました。商品券の発行時には、多くの皆さま方にご迷惑をお掛けしましたが、町内企業における商品券利用が増大するほか、消費拡大効果についても一定の効果があったものと感じております。

また、持続できる企業を振興するため、個々の企業にマッチした経営支援が望まれています。その中、商工業者の身近な良き相談者として、経営支援員によるコンサルティングを積極的に展開するほか、必要に応じた専門家派遣も効果的に実施します。特に、経営意欲を一層高めていただく企業を増やすほか、創業にも

目を向けた取組も積極的に推進しなければなりません。

さらに、町が進める「与謝野ブランド戦略事業」においても、関係先と連携を図り地域の活性化に努めたいと考えております。

他にも、地域経済団体として、地域の活性化と商工業の振興発展に努めなければなりません。地域の特色を活かしたビジネス展開を推進し、地域ビジネスの拡大を図ります。一昨年よりはじめた「新しい産業起し推進事業」では、織物や一次産品を活かした売れる商品づくりに取り組んでおります。今年には、この事業をとおして幾つかの新商品を開発していただき、商品として磨き上げた後に、その販路について専門家のご指導を仰ぎながら進めたいと思っております。

これらの取り組みには、関係機関との協調連携が大変重要であり、関係各位の皆さま方の格別のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

結びに、この輝かしい新年が皆さま方や地域にとりまして、幸多く、明るい良き年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 年頭のご挨拶

与謝野町長 山添 藤真



皆様、明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族おそろいでお健やかに平成28年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町政に対しまして、ご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、京都府民の長年の悲願であった「京都縦貫自動車道」が、着工から35年、7月18日に総延長約100kmが全線開通し、物流だけでなく、京都府北部と南部のヒト、モノ、コトの交流に大きく貢献しております。

京都縦貫自動車道の全線開通に併せて、「海の京都博」が開催され、約4ヶ月間にわたり与謝野町を含む京都府北部の7市町を会場に170を超える催しが開催され、主な観光施設には例年を上回る来場者があったと聞いております。しかしながら、観光地域づくりはこれで終わりではなく、引き続き、京都府北部を全国有数の観光圏にするため、「海の京都・与謝野町実践者会議」及び町内の観光事業者をはじめ関係する皆様と十分に連携し、京都府及び、関係する市町と共に目指す観光地域の実現に向け、調整を進めていきたいと考えております。

また、地場産業に目を移しますと、一昨年に13年ぶりに丹後地区の絹織物業の最低工賃の引き上げの改正がなされましたが、現場の実態としては改善の動きが鈍いなど、景気の影響や労働者の高齢化などが要因で改善が進んでいないようです。しかしながら、与謝野町商工会をはじめ、京都府、丹後織物業組合、京丹後市と連携して取り組みました「織物業生産盤支援事業補助金」には2,000万円を超える交付申請があったことは、織物業界にとって、明るい兆しであったのではないかと感じております。

町政におきましては、「GROOVEする年に。」を年次スローガンにチャレンジングな町政運

営を進めてきました。特に『新しい視点での産業振興施策』として、「与謝野ブランド戦略の推進」のため、5月には田子學氏をクリエイティブディレクターとして招聘し、デザインの力でまちづくりに変革を起こすべく、第3期与謝野町産業振興会議のメンバーと協働し、「阿蘇ベイエリアの活性化」、「タウンプロモーションの強化」、「ものづくり産業の強化」に取り組んできました。

本年は、そのうねりを更に大きくすることを目指し、町民の皆様と一緒に、「みんなの知恵と技術で、新しい価値を生むまちづくりの推進」を図って行きたいと考えております。

このような中、与謝野町商工会におかれましては、町の総合経済団体として、商工業者の皆様の経営革新はもとより地域総合振興事業等にも積極的に取り組まれており、地域経済活性化にご尽力いただいておりますことに対しまして、心よりお礼を申し上げますとともに、与謝野町と与謝野町商工会で今まで以上にガッチリとスクラムを組んで、商工振興、産業振興の発展に寄与してまいりたいと考えております。

商工会におかれましては、安田会長を先頭に、より一層町内企業の振興や産業の活性化、地域循環型経済の構築に向けた取り組みを推進していただき、会員の皆様にも「与謝野町のまちづくり」に一層のご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、与謝野町商工会の今後益々のご発展と役職員、会員並びにご家族の皆様方のご健勝、ご多幸、更にはご商売のご繁栄を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

京都府商工会連合会 会長 沖田 康彦



新年 明けましておめでとうございます。

皆様には、平成28年の初春を健やかに迎えにいられたことを心からお喜び申し上げます。

さて、我が国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響が見られるものの、緩やかな回復が続いていると言われております。平成28年度後半頃には、2%程度の物価上昇率を目指し、その後、これを安定的に持続する成長経路へと移行していく可能性が高いとのことですが、小規模事業者にとって、経営環境は、依然として厳しいものと思われれます。

こうした中、一昨年6月には小規模企業振興基本法が制定され、9月には小規模支援法が一部改正されたことにより、商工会に対する支援が強化されました。具体的には、持続化補助金や経営発達支援計画などの新しい施策が展開されていますが、これは裏を返すと、商工会に対する期待の大きさではないかと身の引き締まる思いであります。

昨年を振り返りますと、商工会法施行55周年という節目の年でありました。京都府との共催による式典には、近畿経済産業局長をはじめ、多くの来賓にご臨席いただきました。ここに改めて、厚くお礼申し上げます。事業面では、新しい取組として、B to B 事業に乗り出しました。2月にけいはんなプラザで開催した「関西学研都市ビジネスマッチング」においては、機械金属を中心としたものづくり75社が出席。関西一円から訪れた来場者と活発な商談を行いました。また、9月には、東京ビッグサイトで開催された「第80回東京インターナショナル・ギフトショー」に京都小間を確保。海外も含めた多くのバイヤーが訪れる中、

32社の出展社と熱心な商談が続きました。

新年を迎えるに当たって、府内20商工会及び連合会は、まずもって商工会法の立法精神に立ち返ります。「商工会組織は、会員等小規模事業者のためにある」ことを踏まえ、諸事業を実施し、商工会の更なる発展を期す決意であります。具体的には、経営・技術強化支援事業等の専門家派遣事業、青年部・女性部事業を支援する若手後継者等育成事業、特産品等販路開拓支援事業、小規模事業者の海外展開を支援する小規模企業広域活性化事業、経営安定特別相談事業、経営支援員が中小企業応援隊として小規模事業者の伴走支援を行う「中小企業応援隊事業」及び消費税軽減策策窓口相談事業等の事業を精力的に実施してまいります。

また、府内各地の地域振興に貢献するため、京都府が取り組まれている「京都づくりプロジェクト（「海の京都」「森の京都」「お茶の京都）」にも積極的に協力してまいりたいと存じます。

どうか、京都府をはじめ、各市町村、関係機関の皆様におかれましては、旧年にも増して一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、この一年の皆様のご健勝とますますのご繁栄を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新春経済講演会

## アベノミクスの成果と今後の展望

はせがわ ゆきひろ  
講師 長谷川 幸洋 氏



開催日時：平成28年1月19日（火）  
午後2時～午後3時30分  
会場：与謝野町商工会（本所）大会議室  
定員：100名（先着順）  
受講料：無料  
主催：丹後地方商工団体連絡協議会  
（構成：京丹后市商工会・宮津商工会議所・  
伊根町商工会・与謝野町商工会）

※セミナーの申込み等に関しては与謝野町商工会までお申込み下さい。  
TEL：0772-43-1020 FAX：0772-42-0737

# 平成27年分 確定申告無料相談開催日のお知らせ

税理士による確定申告等の無料相談が開催されます。  
お近くの相談会場にお気軽にお越しください。

相談会場	開催日	開催時間
元気館 (与謝野町字加悦)	2月18日(木)・19日(金)	9時30分 ～ 16時  ※12時～13時 まで相談は行って おりません。
野田川わくばる (与謝野町字四辻)	2月16日(火)・17日(水) 25日(木)・26日(金)	
知遊館 (与謝野町字岩滝)	2月23日(火)・24日(水)	

※いずれの会場も受付時間は15時30分までです。

## よさの地域・文化振興プレミアム商品券 の有効期限は 健康長寿応援券 平成28年1月31日(日)

※必ず、期限内にご使用ください。期限を過ぎたものは無効になります。

です！

近江八幡市  
・東近江市

## 修理・修景から見える伝統的建造物の歴史



11月27日、「重伝建地区の保存・修景の現状を学ぶ」のため近江八幡市と東近江市に視察研修を実施し、建設業部会員から13名が参加しました。

近江八幡市では、市役所の総合政策部文化観光課職員から「修理・修景事業の現状」について説明いただきました。しっかりとした修理・修景基準を作成し、また文化と観光を結びつけた市の組織体制など、先進的な取り組みをされています。

近江八幡は年間300万人が訪れる人気観光地で、土産物店や飲食店も多く、街並みを撮影する観光客を多く見かけました。しかし一方で、地区住民の世代交代が進み、景観よりも生活の利便性を重視する傾向になり、修理・修景への関心が薄れ、地元の保存組織は休止状態になっているそうです。

東近江市の重伝建地区である「金堂」地区は、数件の旧近江商人宅と寺院を中心にした、静かで落ち着いた、たたずまいです。外壁に舟板を使用した味のある建物がならび、大きな鯉が泳ぐきれいな水路が地区内を巡っています。こちらでは旧宅を買い取り、管理し、また給食センターのパンを鯉に与えるなど、行政の強い後押しがありますが、美しい街並みには住む人の愛着がうかがえました。それぞれ「ちりめん街道」とは異なる取組や地区への思いを知ることができ、大変有意義な一日となりました。



## 消失模型鑄造の製造現場に迫る

去る、11月4日に工業部会では㈱エクセディ鑄造様の工場見学を行いました。主にAT・MT車のパーツ(トルクコンバータ・クラッチ)を製造されている企業で、消失模型鑄造技術のトップランナーとして活躍されている企業であることを理解しました。

消失模型鑄造は、精度が高く、表面が綺麗、軽量化できる等多くのメリットがあり、製造工程で発生する産業廃棄物が非常に少なく環境に配慮された鑄造法であると説明を受けました。今後の鑄造技術の柱ともなりうる鑄造技術であると今回の見学を通し感じました。

参加者一同、鑄造に対するイメージが大きく変わったと口にしており、興味深く工場内を見学しました。



## 料飲業部会まちグルメ部通信

### 「よさのまちグルメ」を開催しました



「食の健康」をテーマに、町内生産者等の食材を使って飲食店が期間限定の特別メニューを提供しました。

お客様からは、「地元の食材で安心して食事ができる。」「あらためて健康について見つめ直す事ができた。」など、嬉しい声を聞く事ができました。

また今回は、まちグルメアンケートにご回答いただいたお客様の中から抽選で、産品が当たる抽選会を実施し生産者のPRにも努めました。

今後も、お客様に喜んでいただける企画を考えていくのは勿論の事、参加店にとって販促活動につながる充実した事業に向けて取り組みたいと思います。



支所	加悦支所開館日	火曜日	9時～13時	木曜日	13時～17時
開館日	岩滝支所開館日	水曜日	9時～13時	金曜日	13時～17時

お気軽にお立ち寄り下さい